



じっけん かんさつしつ わくわく実験・観察室

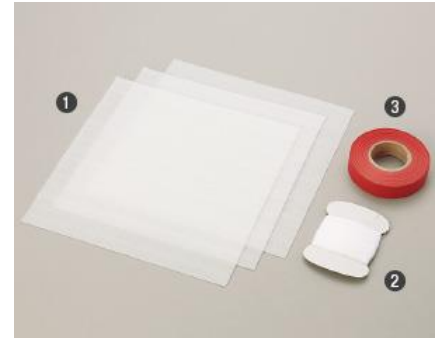
り けんきゅうしつ すずき ゆうや
理科研究室 鈴木 優也

おうちの 中で、たこあげ大会！

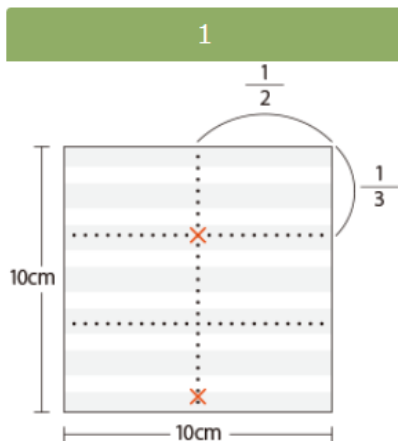
ようい 用意するもの

- ・発泡ポリエチレンシート（梱包シート）20cm×20cm 数枚
- ・ぬい糸 1～2m
- ・紙テープ（新聞紙などを細長く切ったものでも代用できます）

※セロハンテープ ※カッターナイフ ※はさみ ※定規

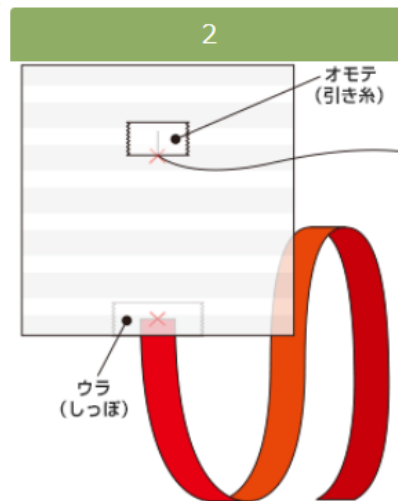


しっけほうほう 実験方法



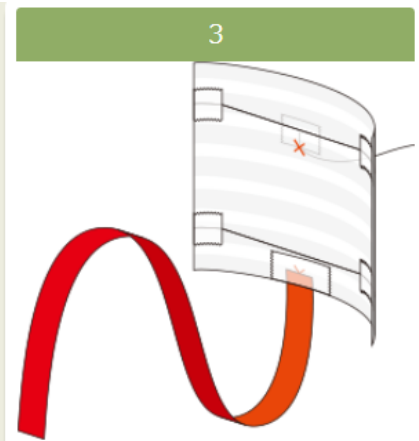
梱包用の発泡ポリエチレンシートを10cm角に切ります。シートの筋が横になるように置き、図の位置（X）に印をつけます。

※絵柄は、この段階で油性ペンで描きます。



※しっぽの長さは本体の2～3倍が標準です。たこのあがり方を見て調整してください。

紙テープを1cm幅に切ります。引き糸を表に、紙テープのしっぽを裏に①でつけた印に合わせてセロハンテープで貼ります。



シートの裏に9cmの糸2本をセロハンテープで貼って反りをつければ完成。いろいろな大きさや形のたこをつくって、飛び方を比べてみましょう。

まめちしき 豆知識

・たこあげは、もともと「いか」あげだった？

たこあげの「たこ」は明治時代の初め頃までは、主に西日本で「いか」「いかのぼり」と呼ばれていました。「たこ」は、江戸で使われるようになった呼び方。それが明治以降、徐々に全国に広まってきました。タコもイカも海の生き物。大空を飛ぶ物体を水生動物に見立てた昔の日本人は、柔軟な感性をもっていたのですね。

『参考文献』

NGK サイエンス サイト

<https://site.ngk.co.jp/>